

## 令和7年度 一般選抜（前期日程） 英語

### 出題意図について

全体を通じての出題意図は以下のとおり。

- ・多種多様なテキストを的確に読み取り，理解する能力を評価する。
- ・そのテキストが表現媒体として，あるいはコミュニケーション媒体として旨とするところを，テキスト理解にもとづいて把握する能力を評価する。
- ・英語ならびに日本語の語彙を理解し，運用する能力を評価する。
- ・学んだ知識と身につけた技能を応用し，英語ならびに日本語で他者に伝えるべく表現する能力を評価する。

### 各問について

#### I

出典は，天動説から地動説への転換というパラダイムシフトにおいて極めて重要な働きをしたガリレオを論じた研究書である。テキストは，如何にガリレオが天体観測によって，それまでアリストテレスによって支配された宇宙観（天動説）に抗し，独自の研究を展開させたかを説いている。この点は現代の研究において，とりわけ自然科学の営みを理解するにあたっては，常に意識されるべき事柄である。

設問は標準的な形式である。テキストの論旨および議論の流れをしっかりと追えれば対応できるだろう。

#### 問1，2，3，4

論述の展開を理解したうえで，語彙や構文を，さらには文章としての論理構造を，的確に読み取り適切な日本語で表現できるかを評価する。どの問題も，英文の構造を判別して読解する能力を，また，文脈を踏まえて語彙や語句を適切に読解し表現する能力を評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・基本的な語彙の理解
- ・省略表現の理解
- ・前置詞を用いた表現の理解
- ・主節，従属節，挿入節の理解
- ・文脈に沿った英文の理解

問5

確実な語彙力を持っているかを評価する。

turn

問6

定型的な表現で用いられる語彙について、確実な理解力を持っているかを評価する。

[A] (ウ)

[B] (ア)

## II

出典は、人類の歴史と未来について考察した研究書である。引用されたテキストは、現代社会においてデータが持つ圧倒的な影響力と、それが人間の価値観や意思決定の在り方をどのように変えていくかを論じている箇所である。筆者は特に「データ至上主義」の概念を提示し、情報の流れを最優先とする考え方が従来の人間中心の価値観とどう対立し、あるいは融合していくのかを探究している。これは、AI やアルゴリズムがあらゆることに欠かせない時代において、科学技術のみならず倫理や社会制度を考える上でも重要な視点となる。

設問では、文法的知識を応用させながら、テキストの論旨を的確に捉え、筆者がどのような問題提起を行っているかを丁寧に追うことが求められる。

- [1] ケ [2] コ [3] ヌ [4] ウ [5] タ [6] ニ [7] イ [8] カ [9] キ [10] エ  
[11] ス [12] ア [13] ソ [14] セ [15] サ [16] テ [17] ト [18] シ [19] ノ  
[20] ツ [21] ク [22] オ [23] ネ [24] ナ [25] チ

## III

オスカー・ワイルドの *The Picture of Dorian Gray* から、主人公がヘンリー卿と初めて出会い、光と花々に満ちた庭園で言葉を交わし、この物語の鍵概念である「若さ」‘youth’ と「美しさ」‘beauty’ が最初に提示される場面をテキストとした。物語はそのあと、惰性にまみれた日常的思考を脱する新たな感覚と生の獲得、あるいは、遠く

古代ギリシアに由来する l' amour de l' impossible が、その黒々とした深淵をもうかがわせつつ展開されていく。ところで、若さと美しさは現代の人間において、そして医学医療において、おおいに価値あることと考えられているようだ。そういう事態そのものを意識し反省するきっかけとして、このテキストはなにがしか資するところを有するだろう。

#### 問1, 問2

叙述の展開と濃密さを理解したうえで、個々の語彙や構文を、さらには文章としての論理構造を、的確に読み取り日本語で表現する能力を評価する。どちらの問題も、英文の構造は比較的容易である。それを確実に捉えて、用いられている語彙や語句を適切に読解し表現できるかどうかを評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・ 関係代名詞および関係代名詞節の正確な理解
- ・ 基本的語彙がもつ多様な用法ならびに意味の正確な読解
- ・ 基本的語彙が用いられる熟語的表現の読解
- ・ 叙述の展開に即した指示代名詞の読解

#### 問3

- |        |       |       |
|--------|-------|-------|
| [1] キ  | [2] コ | [3] ケ |
| [4] ク  | [5] イ | [6] エ |
| [7] カ  | [8] ア | [9] ウ |
| [10] オ |       |       |

### IV

出典は、フィールズ賞を日本人として初めて受賞した高名な数学者のエッセイである。日本語特有の表現を柔軟に解釈し、基礎的な英語の知識と論理的思考力を駆使して、英語で表現することができるかを評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・ 基本的な語彙を用いた表現
- ・ 基本的な熟語を用いた表現
- ・ 主節, 従属節を使い分けた表現
- ・ 対比をあらわす表現
- ・ 類似をあらわす表現